★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約５年間（2015年６月26日～2020年６月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」（以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの受益証券への投資を通じて、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ※米国の高配当株式への投資にあたっては、米国の高配当株式指数を対象としたＥＴＦを活用します。 ②当ファンドは、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドでは、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第12期（決算日　2016年７月19日）
第13期（決算日　2016年８月17日）
第14期（決算日　2016年９月20日）
第15期（決算日　2016年10月17日）
第16期（決算日　2016年11月17日）
第17期（決算日　2016年12月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）」は、このたび、第17期の決算を行ないました。

ここに、第12期～第17期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
http://www.daiwa-am.co.jp/

〈3264〉

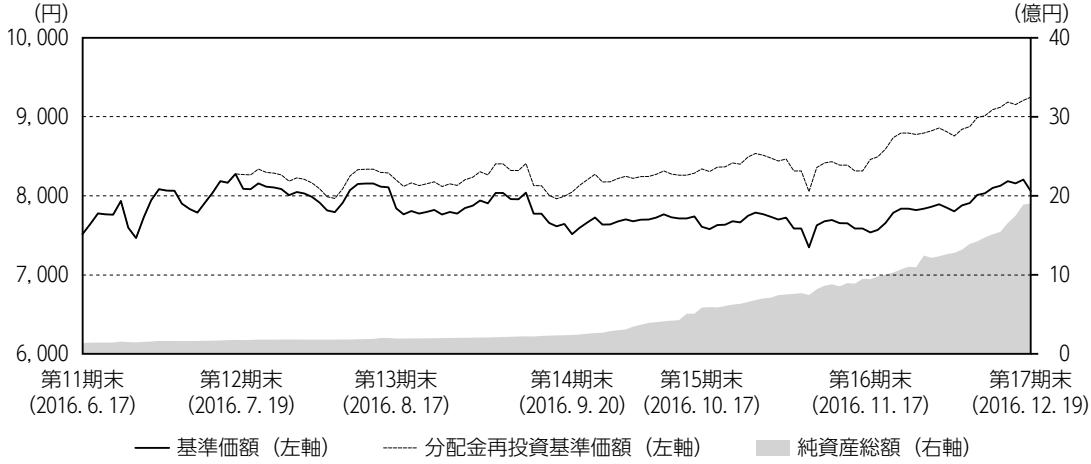
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券受益組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1期末（2015年8月17日）	9,296	180	△ 5.2	0.1	98.4	148
2期末（2015年9月17日）	7,790	180	△ 14.3	0.1	98.8	124
3期末（2015年10月19日）	7,879	180	3.5	0.1	98.8	126
4期末（2015年11月17日）	8,048	180	4.4	0.1	99.0	129
5期末（2015年12月17日）	7,839	180	△ 0.4	0.1	98.9	126
6期末（2016年1月18日）	6,955	180	△ 9.0	0.1	91.9	120
7期末（2016年2月17日）	6,966	180	2.7	0.1	98.6	112
8期末（2016年3月17日）	7,436	180	9.3	0.0	98.2	121
9期末（2016年4月18日）	7,646	180	5.2	0.0	98.5	125
10期末（2016年5月17日）	7,732	180	3.5	0.0	98.9	135
11期末（2016年6月17日）	7,515	180	△ 0.5	0.1	97.9	138
12期末（2016年7月19日）	8,088	180	10.0	0.0	98.8	172
13期末（2016年8月17日）	7,840	180	△ 0.8	0.0	98.7	193
14期末（2016年9月20日）	7,515	180	△ 1.8	0.0	96.5	237
15期末（2016年10月17日）	7,608	180	3.6	0.0	84.2	584
16期末（2016年11月17日）	7,537	180	1.4	0.0	92.6	942
17期末（2016年12月19日）	8,059	180	9.3	0.0	89.5	1,903

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第12期首：7,515円
第17期末：8,059円（既払分配金1,080円）
騰 落 率：23.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行なうとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、株式が上昇したことやブラジル・レアルが対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しました。オプション取引については、株式のオプション、通貨のオプションともにマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率		
		円	%	%	%
第12期	（期 首）2016年６月17日	7,515	—	0.1	97.9
	６月末	7,945	5.7	0.0	98.8
	（期 末）2016年７月19日	8,268	10.0	0.0	98.8
第13期	（期 首）2016年７月19日	8,088	—	0.0	98.8
	７月末	8,030	△ 0.7	0.0	98.7
	（期 末）2016年８月17日	8,020	△ 0.8	0.0	98.7
第14期	（期 首）2016年８月17日	7,840	—	0.0	98.7
	８月末	7,874	0.4	0.0	97.2
	（期 末）2016年９月20日	7,695	△ 1.8	0.0	96.5
第15期	（期 首）2016年９月20日	7,515	—	0.0	96.5
	９月末	7,701	2.5	0.0	92.1
	（期 末）2016年10月17日	7,788	3.6	0.0	84.2
第16期	（期 首）2016年10月17日	7,608	—	0.0	84.2
	10月末	7,699	1.2	0.0	91.6
	（期 末）2016年11月17日	7,717	1.4	0.0	92.6
第17期	（期 首）2016年11月17日	7,537	—	0.0	92.6
	11月末	7,861	4.3	0.0	89.7
	（期 末）2016年12月19日	8,239	9.3	0.0	89.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

iシェアーズ好配当株式ＥＴＦ（配当再投資）は米ドルベースで8.9% 上昇しました。英国のＥＵ（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票において離脱派が勝利した2016年６月下旬や、米国大統領選挙をめぐる不透明感が高まった10月から11月にかけては、米国株式市況は下落しましたが、大統領選挙でトランプ氏が勝利し、次期政権による減税と大規模なインフラ投資への期待が高まると、株価は大きく上昇しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で17.9% 上昇しました。第12期首から2016年９月にかけては、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による利上げや日銀による追加緩和をめぐる思惑などに左右され、方向感のない推移となりました。10月から11月にかけては、原油価格の上昇などを背景に市場のリスク回避姿勢が後退して円が売られ、レアルは対円で上昇しました。12月に入ると、ブラジル国内での財政再建期待が高まったことや、主要産油国が原油生産量の削減で合意し原油価格が上昇したことを受けて、レアルは続伸しました。

○短期金利市況

ブラジル中央銀行は政策金利を10月と11月に0.25% ポイントずつ引き下げ、14.25% から13.75% としました。一方、ＦＲＢは2016年12月のＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50% から0.50～0.75% に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数（Dow Jones U.S. Select Dividend Index）を対象としたＥＴＦを活用し、米国の高配当株式へ投資します。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはＥＴＦにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率

はファンドの純資産総額の50% 程度とします。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50% 程度とします。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

○アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦを活用し、米国の高配当株式に投資を行ないました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。投資対象とするＥＴＦにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50% 程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50% 程度としました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第12期から第17期の１万口当り分配金（税込み）はそれぞれ180円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
	2016年６月18日～2016年７月19日	2016年７月20日～2016年８月17日	2016年８月18日～2016年９月20日	2016年９月21日～2016年10月17日	2016年10月18日～2016年11月17日	2016年11月18日～2016年12月19日
当期分配金（税込み）（円）	180	180	180	180	180	180
対基準価額比率（%）	2.18	2.24	2.34	2.31	2.33	2.18
当期の収益（円）	180	180	180	143	180	180
当期の収益以外（円）	—	—	—	36	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,457	3,568	3,699	3,754	3,854	3,965

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	306.18円	264.66円	259.39円	143.64円	210.35円	197.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,040.24	1,456.91	1,981.08	3,095.64	3,464.91	3,765.03
(d) 分配準備積立金	2,290.72	2,027.18	1,639.38	695.08	359.04	182.88
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,637.15	3,748.76	3,879.86	3,934.36	4,034.32	4,145.90
(f) 分配金	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	3,457.15	3,568.76	3,699.86	3,754.36	3,854.32	3,965.90

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦを活用し、米国の高配当株式への投資を行ないます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはＥＴＦにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50% 程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50% 程度とします。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第12期～第17期 (2016. 6. 18～2016. 12. 19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	48円	0. 615%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は7, 835円です。**
（投信会社）	(17)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(30)	(0. 383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0. 021)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	50	0. 640	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注３）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注４）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2016年６月18日から2016年12月19日まで）

決算期	第12期～第17期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	34,672.278	1,537,733	249.738	11,764

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2016年６月18日から2016年12月19日まで）

第12期～第17期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	32,100.255	1,426,800	44	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	249.738	11,764	47

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第12期～第17期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2016年６月18日から2016年12月19日まで）

決算期	第12期～第17期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	328,180	92,215	28.1	—	—	—
コール・ローン	9,516,566	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第12期～第17期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第12期首保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第17期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

（注１）金額は元本ベース。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第17期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	37,315.883	1,703,208	89.5

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第11期末	第17期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月19日現在

項目	第17期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,703,208	87.0
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	254,415	13.0
投資信託財産総額	1,957,784	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2016年7月19日）、（2016年8月17日）、（2016年9月20日）、（2016年10月17日）、（2016年11月17日）、（2016年12月19日）現在

項目	第12期末	第13期末	第14期末	第15期末	第16期末	第17期末
(A)資産	**185,072,424円**	**198,200,455円**	**248,343,451円**	**601,220,413円**	**1,030,182,955円**	**2,087,784,755円**
コール・ローン等	10,140,880	6,929,132	16,504,390	108,860,372	100,804,665	254,415,905
投資信託受益証券（評価額）	170,471,544	191,111,323	229,279,077	492,200,057	873,418,322	1,703,208,882
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	160,000	160,000	159,984	159,984	159,968	159,968
未収入金	4,300,000	—	2,400,000	—	55,800,000	130,000,000
(B)負債	**12,607,698**	**4,633,071**	**10,733,267**	**16,931,246**	**87,414,108**	**184,611,060**
未払金	8,600,000	—	4,800,000	—	55,800,000	130,000,000
未払収益分配金	3,838,351	4,444,381	5,691,009	13,824,717	22,516,082	42,506,537
未払解約金	—	10,000	—	2,782,343	8,323,366	10,691,695
未払信託報酬	168,239	176,422	238,413	318,234	763,631	1,392,530
その他未払費用	1,108	2,268	3,845	5,952	11,029	20,298
(C)純資産総額（A－B）	**172,464,726**	**193,567,384**	**237,610,184**	**584,289,167**	**942,768,847**	**1,903,173,695**
元本	213,241,736	246,910,079	316,167,175	768,039,857	1,250,893,485	2,361,474,286
次期繰越損益金	△ 40,777,010	△ 53,342,695	△ 78,556,991	△ 183,750,690	△ 308,124,638	△ 458,300,591
(D)受益権総口数	**213,241,736口**	**246,910,079口**	**316,167,175口**	**768,039,857口**	**1,250,893,485口**	**2,361,474,286口**
1万口当り基準価額（C／D）	**8,088円**	**7,840円**	**7,515円**	**7,608円**	**7,537円**	**8,059円**

＊第11期末における元本額は183,835,650円、当作成期間（第12期～第17期）中における追加設定元本額は2,504,097,526円、同解約元本額は326,458,890円です。
＊第17期末の計算口数当りの純資産額は8,059円です。
＊第17期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は458,300,591円です。

■損益の状況

第12期　自2016年６月18日　至2016年７月19日　　第14期　自2016年８月18日　至2016年９月20日　　第16期　自2016年10月18日　至2016年11月17日
第13期　自2016年７月20日　至2016年８月17日　　第15期　自2016年９月21日　至2016年10月17日　　第17期　自2016年11月18日　至2016年12月19日

項　　目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(A)配当等収益	**6,603,775円**	**6,712,499円**	**8,441,290円**	**11,319,595円**	**27,082,068円**	**47,341,375円**
受取配当金	6,604,097	6,712,704	8,441,670	11,320,696	27,085,188	47,347,580
受取利息	—	—	—	2	10	119
支払利息	△ 322	△ 205	△ 380	△ 1,103	△ 3,130	△ 6,324
(B)有価証券売買損益	**8,381,932**	**△ 8,205,276**	**△ 12,572,706**	**1,301,575**	**△ 13,790,541**	**65,736,838**
売買益	8,429,745	349,260	5,441	1,309,135	1,941,952	69,344,897
売買損	△ 47,813	△ 8,554,536	△ 12,578,147	△ 7,560	△ 15,732,493	△ 3,608,059
(C)信託報酬等	**△ 169,347**	**△ 177,582**	**△ 239,990**	**△ 320,341**	**△ 768,708**	**△ 1,401,799**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**14,816,360**	**△ 1,670,359**	**△ 4,371,406**	**12,300,829**	**12,522,819**	**111,676,414**
(E)前期繰越損益金	**△ 34,624,901**	**△ 22,965,357**	**△ 28,906,207**	**△ 38,282,449**	**△ 35,337,627**	**△ 40,190,909**
(F)追加信託差損益金	**△ 17,130,118**	**△ 24,262,598**	**△ 39,588,369**	**△ 143,944,353**	**△ 262,793,748**	**△ 487,279,559**
(配当等相当額)	(22,182,343)	(35,972,699)	(62,635,531)	(237,757,563)	(433,424,353)	(889,103,539)
(売買損益相当額)	(△ 39,312,461)	(△ 60,235,297)	(△ 102,223,900)	(△ 381,701,916)	(△ 696,218,101)	(△ 1,376,383,098)
(G)合計（D＋E＋F）	**△ 36,938,659**	**△ 48,898,314**	**△ 72,865,982**	**△ 169,925,973**	**△ 285,608,556**	**△ 415,794,054**
(H)収益分配金	**△ 3,838,351**	**△ 4,444,381**	**△ 5,691,009**	**△ 13,824,717**	**△ 22,516,082**	**△ 42,506,537**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 40,777,010**	**△ 53,342,695**	**△ 78,556,991**	**△ 183,750,690**	**△ 308,124,638**	**△ 458,300,591**
追加信託差損益金	△ 17,130,118	△ 24,262,598	△ 39,588,369	△ 143,944,353	△ 262,793,748	△ 487,279,559
(配当等相当額)	(22,182,343)	(35,972,699)	(62,635,531)	(237,757,563)	(433,424,353)	(889,103,539)
(売買損益相当額)	(△ 39,312,461)	(△ 60,235,297)	(△ 102,223,900)	(△ 381,701,916)	(△ 696,218,101)	(△ 1,376,383,098)
分配準備積立金	51,538,592	52,143,710	54,342,189	50,592,873	48,710,526	47,435,234
繰越損益金	△ 75,185,484	△ 81,223,807	△ 93,310,811	△ 90,399,210	△ 94,041,416	△ 18,456,266

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,529,139円	6,534,912円	8,201,292円	11,032,277円	26,313,355円	46,754,434円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	22,182,343	35,972,699	62,635,531	237,757,563	433,424,353	889,103,539
(d) 分配準備積立金	48,847,804	50,053,179	51,831,906	53,385,313	44,913,253	43,187,337
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	77,559,286	92,560,790	122,668,729	302,175,153	504,650,961	979,045,310
(f) 分配金	3,838,351	4,444,381	5,691,009	13,824,717	22,516,082	42,506,537
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	73,720,935	88,116,409	116,977,720	288,350,436	482,134,879	936,538,773
(h) 受益権総口数	213,241,736口	246,910,079口	316,167,175口	768,039,857口	1,250,893,485口	2,361,474,286口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
	180円	180円	180円	180円	180円	180円
（単　価）	（8,088円）	（7,840円）	（7,515円）	（7,608円）	（7,537円）	（8,059円）

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。
（注）2016年12月19日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書
2015年９月30日

資産		
損益通算公正価値で測定する金融資産（取得原価：160, 489, 983円）	円	119, 116, 994
現金および現金同等物		133
資産合計		119, 117, 127
資本（償還可能受益証券保有者帰属純資産）		
元本		161, 314, 213
繰越損失		(42, 197, 086)
資本合計		119, 117, 127
資本・負債合計	円	119, 117, 127

包括利益計算書

2015年６月26日（運用開始日）～2015年９月30日

収益		
クーポン収入	円	9,002,901
受取利息		133
損益通算公正価値で測定する金融資産に係る純実現損失		(824,230)
損益通算公正価値で測定する金融資産に係る評価損の純変動額		(41,372,989)
損失合計		(33,194,185)
費用		
報酬代行会社報酬		88,688
費用合計		88,688
運用損失		(33,282,873)
包括損失合計（業務活動による償還可能受益証券保有者帰属純資産の減少）	円	(33,282,873)

2015年９月30日現在の担保付スワップの残高（純資産の100％）

変動利率の支払い／受取	支払い
変動利率の指数	U.S. 高配当株式クワトロ戦略
固定利率	0.00%
満期日	2015年10月15日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
想定元本	152,608,443 円
原価	160,489,983 円
公正価値	119,116,994 円
評価損	(41,372,989)円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2016年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第17期の決算日（2016年12月19日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2016年６月18日から2016年12月19日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	38,290,545		
601 国庫短期証券 2016/7/19	32,440,634		
611 国庫短期証券 2016/9/5	32,020,679		
629 国庫短期証券 2016/11/28	21,440,750		
609 国庫短期証券 2016/8/22	18,650,416		
632 国庫短期証券 2016/12/12	18,230,651		
610 国庫短期証券 2016/8/29	18,200,396		
607 国庫短期証券 2016/8/15	15,550,277		
587 国庫短期証券 2016/8/10	14,450,060		
605 国庫短期証券 2016/8/8	13,830,474		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年12月19日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（102,821,630千口）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

	2016年12月19日現在						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	7,360,000	7,360,140	7.1	—	—	—	7.1

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注３）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年12月19日現在					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	635 国庫短期証券	—	7,360,000	7,360,140	2016/12/26

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書　第８期　（決算日　2016年12月９日）

（計算期間　2015年12月10日～2016年12月９日）

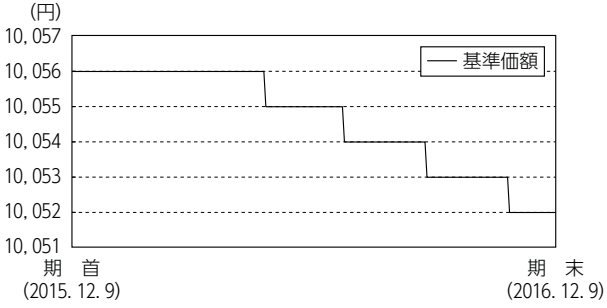
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第８期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首) 2015年12月9日	10,056	—	51.3
12月末	10,056	0.0	53.4
2016年1月末	10,056	0.0	57.6
2月末	10,056	0.0	42.0
3月末	10,056	0.0	5.2
4月末	10,056	0.0	5.4
5月末	10,055	△ 0.0	0.1
6月末	10,055	△ 0.0	1.9
7月末	10,054	△ 0.0	19.3
8月末	10,054	△ 0.0	45.8
9月末	10,053	△ 0.0	26.0
10月末	10,053	△ 0.0	3.4
11月末	10,052	△ 0.0	26.7
(期末) 2016年12月9日	10,052	△ 0.0	28.1

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首:10,056円　期末:10,052円　騰落率:△0.0%
【基準価額の主な変動要因】
低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。
◆投資環境について
○国内短期金融市況
期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。
◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。
◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公社債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	436,874,861	—
			(409,652,750)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公　社　債

（2015年12月10日から2016年12月９日まで）

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	38,290,545		
601 国庫短期証券 2016/7/19	32,440,634		
611 国庫短期証券 2016/9/5	32,020,679		
591 国庫短期証券 2016/5/30	27,000,600		
629 国庫短期証券 2016/11/28	21,440,750		
609 国庫短期証券 2016/8/22	18,650,416		
632 国庫短期証券 2016/12/12	18,230,651		
610 国庫短期証券 2016/8/29	18,200,396		
596 国庫短期証券 2016/6/20	17,520,381		
533 国庫短期証券 2016/5/20	17,450,349		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	29,310,000	29,310,563	28.1	—	—	—	28.1

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注３）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分		当期末				
	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	632 国庫短期証券	—	18,230,000	18,230,147	2016/12/12	
	634 国庫短期証券	—	3,720,000	3,720,073	2016/12/19	
	635 国庫短期証券	—	7,360,000	7,360,342	2016/12/26	
合計	銘柄数	3銘柄				
	金額		29,310,000	29,310,563		

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	29,310,563	27.2
コール・ローン等、その他	78,355,232	72.8
投資信託財産総額	107,665,795	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月９日現在

項目	当期末
(A)資産	**107,665,795,581円**
コール・ローン等	78,354,409,362
公社債（評価額）	29,310,563,469
その他未収収益	822,750
(B)負債	**3,360,063,840**
未払金	3,360,063,840
(C)純資産総額（A－B）	**104,305,731,741**
元本	103,766,716,434
次期繰越損益金	539,015,307
(D)受益権総口数	**103,766,716,434口**
１万口当り基準価額（C／D）	**10,052円**

＊期首における元本額は4,068,192,218円、当期中における追加設定元本額は128,013,693,034円、同解約元本額は28,315,168,818円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）512,014,302円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）11,755,926,415円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、通貨選択型米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）Ⅱ995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティ™・ファンド15,363,351円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワＴＯＰＩＸベア・ファンド（適格機関投資家専用）89,575,789,270円、ダイワユーロベア・ファンド（３倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,501,723,555円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債７-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－ＵＳトライアングル－351,635,806円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－53,926,540円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,052円です。

■損益の状況

当期　自2015年12月10日　至2016年12月９日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	**△　31,874,427円**
受取利息	△　7,919,727
その他収益金	822,750
支払利息	△　24,777,450
(B)有価証券売買損益	**△　1,748,531**
売買益	39
売買損	△　1,748,570
(C)その他費用	**△　248,630**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**△　33,871,588**
(E)前期繰越損益金	**22,707,764**
(F)解約差損益金	**△　153,699,691**
(G)追加信託差損益金	**703,878,822**
(H)合計（D＋E＋F＋G）	**539,015,307**
次期繰越損益金（H）	**539,015,307**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。